

留学だより⑥



ナマステー！ AFS71 期でインドのパンジャブ州に留学している井之前です。明けましておめでとうございます。初めての海外での年越し新鮮です。すでに 2025 年を迎えましたが、今回は 11 月の内容となっています。

1. MU20 in Indore 2, ホストマザー村長になる 3, 今月の神様

今回はこの 3 本立てでお送りします！

<MU20 in Indore>

10/19～10/22 の 4 日間、インド中の高校生 3000 人以上が集まって開かれた模擬国連に参加しました！

「模擬国連」と聞いてもよくわからない人も多いのではないかと思います。WHO や UNHCR などの国連機関で、ある課題について三日間かけて議論を行い、最終的には世界全体での解決策を導き出すというものです。担当する国はランダムで振り分けられ、私が担当した国はアラブ首長国連邦でした。

それぞれの国が異なる問題を抱えているので、自分が担当した国について深い知識が求められます。担当した国に有利に進めたいので、議論が白熱するのも醍醐味のひとつです。

・ 1 日目

学校に午前 2 時半に集合して向かう先は空港！ MU20 の会場となる INDORE という都市まで飛行機で向かいます。直線距離では 900 km。日本では東京から福岡までとほぼ同じです。新幹線がなく、渋滞大国のインドでは飛行機は必須です。ラクナウという都市で乗り換えをして午後 3 時に会場に到着しました。

(左) MU20 のオブジェ⇒



(右) 飛行機では乗り継ぎもはさんで大移動⇒



会場に到着するとすぐに着替えます。なぜなら私の学校はカルチャーウォークに参加するからです。この MU20 にはインド中から学生が集まって参加しているのでそれぞれの地域の伝統衣装や踊りなどを披露するためのものです。私の学校では、パンジャブ州の伝統の衣装を着て、伝統の踊りであるバングラを披露しました。



ドローンが飛んでいたり、踊っている真横で炎が吹き出したりしてとにかくお金がかけられているのがひしひしと感ずるのとともに、スターになった気分でした。

出演者側だったので他の学校のパフォーマンスを見ることはできなかったのですが、MU20 から送られてきた写真の中には全く見たことがないような衣装があり、とにかく、インド文化の奥深さを感じた瞬間です。

カルチャーウォークと開会式を終えた時点ですでに午後7時。しかしそこで終わらないのがインドです。ダンスの時間です。インドの有名な曲が流れ、みんなでジャンプして午後10時まで踊りまくりました。知ってる曲なんてほとんどないし、ヒンディー語の歌詞は1ミリも理解できなかったけれど、友達も初対面の人も関係なく踊りまくって超が3個付くくらい楽しかったです。

・2日目

1日目の印象が強すぎて自分が何のために来たのか忘れてしまいそうでしたが、本命の「模擬国連」が始まりました。私は UNOOSA という宇宙に関する機関で宇宙ゴミについて議論を行いました。模擬国連のメンバーはインド中の英語の訛りが集結したような感じで、途中は英語も理解できなくてパンク状態で、正直あまり覚えていない部分もあります。しかし、議論が終わるとみんなフレンドリーでたくさん友達ができました！



そして、昨日の流れと同様に午後6時からダンスの時間です！今日はDJもついてグレードアップしていて、私は1日目に覚えたてのインドの曲とともに踊りまくります。今日は花火に銀テープが降ってくるなどで、間違っフェスに来たのかと思うくらいの規模感。アドレナリンが止まりませんね。

午後11時頃にホテルに帰ると就寝ではなく夜食とおしゃべりしたり、ロビーのテレビゲームで遊んだりしました。1日が長すぎて2日目はこれくらいにします。



・3日目

とうとう3日目。今日でMU20も最終日です。模擬国連では同盟を組んだり、さらに細かい議論まで行ったりで2日目同様にパンク状態です。お昼は一緒に参加している留学生のみんなと食べました。参加している機関がバラバラなのでどんな議論をしたのか情報交換でにぎわいました。

ついに模擬国連が終了すると閉会式が行われます。閉会式は踊らないので少しばかり退屈でした。閉会式が終わると、引率の先生がストリートフードの並ぶ商店街に連れて行ってくれました。私が住んでいる地域よりも圧倒的に治安がいいので、友達と自由に遊びまわることができました。

パニプリやパオバジ、ラッドゥなど胃袋に詰め込みました。一番興味深かったのはスモーキーパーンというものです。葉っぱにスパイスと液体窒素みたいなものが口の中に放り込まれます。食べている間に鼻と口から煙が噴き出してとても面白かったです。

ホテルまではオートリクシャー（トゥクトゥク）で帰りました。ホテルでの DJ ダンスの曲数は数え切れません。そして4日目は帰るだけなので、3日目の夜はオールナイトを目指して思いっきり夜更かしをして楽しみました。



オートリクシャーはとってもパリピ。3人乗り
で10分ほどの距離を100ルピー（200円）
引率の先生の値引き交渉がうますぎました。

・4日目

とうとう最終日。3日間の MU20 を終え、家に帰りました。インド中からやってきた人たちと友達になり、議論をして新しい体験もできて、最高に楽しかったです！



<ホストマザー村長になる>

MU20 から帰ると、家にとんでもない人たちが集まっていたので何かと思ったら、ホストマザーが選挙に勝ち、村長になったようです。家では村の人に向けて食事が振る舞われ、最後にはインドダンスで締めます。

私が住む街には観光客が全くと言っていいほど来ないので、村の人にとっては日本人が珍しかったようで、年齢が近い友達もたくさんできました。

「ホストマザー、おめでとう！」という気持ちと、村長になってから村中にホストマザーの顔が貼ってあって、自分まで少し誇らしい気持ちになりました。



<今月の神様>

今月の神様は知っている人も多いであろうガネーシャです。私は小学生の時にハマっていた「にゃんこ大戦争」でガネーシャと初対面しました。

さて、ガネーシャは、象の頭を持つ知恵と繁栄の神で、ヒンドゥー教でも重要な神様の一人です。新しいことを始める際に祈りが捧げられ、成功や学業成就の神として信仰されています。頭は知恵を、大きな耳は人々の願いを聞く力を象徴しています。

有名な伝説では、ガネーシャは母パールヴァティの命令で門を守り、父シヴァ神と争った末、頭を失いましたが、象の頭を与えられて復活するという話があります。忠誠と知恵の象徴として語り継がれていますが少し衝撃的です。

毎年9月には「ガネーシャ・チャトゥルティ」というお祭りが行われ、多くの人々が祈りを捧げます。

またね！